

日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 5 月末現在）

	4 月	5 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,349	2,913	410,899	543,123
患者登録者数	223	285	3,156	35,867
移植例数	101	102	-	14,254

- 20 歳未満のドナー登録者数
5 月 273 人
合計 17,722 人（17 年 3 月～）
- 51 歳以上のドナー登録者数
5 月新規 141 人
延長 231 人
合計 27,640 人

■5 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／860 人、献血併行型集団登録会／1,922 人、集団登録会／61 人、その他／70 人 注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 PBSCT コーディネートシステムの稼働を開始

末梢血幹細胞（PBSC）提供を含むコーディネートは平成 22 年 10 月に導入し、これまでに 5 例の移植が実施されました。昨年 4 月からコーディネート支援システムの改修を進めていましたが、概ね完了したことから、6 月 25 日（月）より稼働する予定です。

なお、これまで PBSC 提供を含むコーディネートは、中央事務局 PB 担当が全国のコーディネートを手作業で調整していましたが、システム稼働にともない今後は各地区事務局が調整を行います。

また、登録責任医師・移植担当医師・連絡責任医師宛のコーディネートの帳票や報告内容、形式等において変更点がありますので、各医師の方々におかれましては、別添「非血縁者間末梢血幹細胞移植に関するコーディネートの手続きおよび注意点」をご確認くださいませようお願いします。

2 第 1 回通常理事会の開催

6 月 8 日（金）、新法人となって初めての理事会が開催されました。新公益法人制度では、理事会への委任状や書面による出席は認められません。10 名の理事全員と監事 2 名が出席して、平成 23 年度事業報告（案）、平成 23 年度決算報告（案）等が審議され、承認されました。6 月 27 日（水）の通常評議員会でも審議が行われます

3 患者さんとご家族のための冊子を改訂しました

今まで「骨髄バンクと骨髄移植」と題してバンク利用編、移植医療編を患者さんにお送りしていましたが、このたび、タイトルはじめ内容を改訂しました。

新しい冊子は「骨髄バンクハンドブック」として、患者利用編、移植医療編、移植医療編別冊の 3 部構成になっています。非血縁者間末梢血幹細胞移植に関するコーディネートの詳細説明や医療情報の入手に関すること、また、別冊は移植種類別の移植成績などを掲載しています。

4 「募金ご協力のお願い」のサイトをリニューアルしました

厳しい社会経済の状況を反映して、当財団への募金も伸び悩んでいます。そこで 6 月 11 日（月）より、少しでも多くの方にご理解いただけるよう当財団ホームページの「募金ご協力のお願い」のコンテンツを一新しました。寄付者の方への税制上の優遇措置や、サイトを訪れてくださった方に募金の申込み方法を分かりやすく表示したほか、「ポイント募金」や、クリックするだけで 1 円の募金ができる



「クリック募金」など、最近加わった新しい募金方法も表示しています。多くの方の目に留まることを期待しています。

HOME > 「募金ご協力をお願い」 http://www.jmdp.or.jp/help_us/

5 リンベル社のカタログギフトに骨髄バンクへの寄付商品が登場

リンベル株式会社のカatalogギフトに「骨髄バンクへ寄付」という商品が登場します。同社は結婚引出物や出産の内祝など、贈られた方がお好みの商品を選べる「カタログギフト」の先がけで、品物ではなく宿泊券やクルージング体験などの「選べる体験ギフト」が人気です。6月より新しくなる「プレゼンターズカタログ」の2000円・3000円・3500円・8000円の4つのコースで「骨髄バンクへの寄付」が「チャリティ体験」のひとつとして掲載され、この商品が選ばれる度に、手数料を引いた全額が寄付されます。同社カタログの発行部数は全コースで計700万部。寄付金だけでなく、普及啓発の効果も大きいと見込まれます。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定	
第一回評議員会	公開・一部非公開	6月27日(水)14:00~16:00	廣瀬第2ビル地下会議室
臨時理事会	公開・一部非公開	6月27日(水)16:30~	廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	7月20日(金)17:30~19:30	廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 「ご説明書」の一本化および一部変更と「補足事項」の改訂について

現在、骨髄提供のコーディネーター対象者には、ドナー用説明資料として「骨髄提供者となられる方へのご説明書」（以下、ピンク色冊子という）を配布し、骨髄または末梢血幹細胞提供のコーディネーター対象者には「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」（以下、青色冊子という）を配布しています。

青色冊子はピンク色冊子の内容を網羅していること、2種類の冊子を使用することにより運用面・管理面が煩雑になることなどの理由から、6月下旬頃からすべてのドナーに対して青色冊子を配布します。

■ドナーへの「青色冊子」の送付開始時期について

初期担当における「ピンク色冊子」の在庫がなくなり次第、切り替わります（6月下旬頃の見込み。確定次第、地区事務局へお知らせします）。

すでに「ピンク色冊子」を送付しているドナーへの差し替えは必要ありません。6月下旬以降の確認検査では、コーディネーター・調整医師の先生方には両方の「ご説明書」をご用意いただき、ドナーがお持ちのものに合わせてご説明ください。



■「青色冊子」の一部変更と『補足事項』の改訂について

「青色冊子」について、誤字や主に昨年の「ピンク色冊子」の改訂時にすでに変更となっている箇所等を修正しました（内容の改訂ではありません）。

また、『補足事項』の「骨髓提供編」について「『骨髓バンク団体傷害保険』適用症例一覧」および「骨髓バンク団体傷害保険で後遺障害適用となった事例について」を改訂しました（財団ホームページでもご覧いただけます）。「末梢血幹細胞提供編」は今後の実績をふまえて改訂する予定です。

6 月下旬頃からすべてのドナーに送付する「青色冊子」と『補足事項』は変更後のものとなります。

コーディネーター・調整医師の方々には、新しい「青色冊子」、『補足事項』および変更一覧を今号に同封します。

8 平成 24 年度コーディネーター養成研修会受講生募集について

先月号のマンスリー JMDP でもお知らせしましたが、一部地域においてコーディネーター養成研修を行います。収入にかかわらず、社会貢献ととらえて活動できる方を募集しています。

「募集要項」は財団ホームページ (<http://www.jmdp.or.jp/>) でご覧いただけますので、お知り合いや周囲の方でコーディネーターに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、応募のお声掛けをお願いします。

応募締切：平成 24 年 7 月 27 日（金）

9 2012 年全国調査 本登録データ提出のお願い（移植施設の方へ）

6 月 8 日付けで日本造血細胞移植学会より「2012 年全国調査本登録データ提出のお願い」が発出されました。提出期限は 9 月 28 日（金）必着となっておりますのでご対応のほど、よろしく願います。詳細は、別添「2012 年全国調査 本登録データ提出のお願い」をご確認ください。

10 連絡事項

◆末梢血幹細胞採取・移植に関する Q&A（第 2 版）および末梢血幹細胞採取施設情報一覧の送付について（コーディネーターの方へ）

地区事務局・コーディネーターによる末梢血幹細胞提供を含むコーディネート開始に向けて、以下の資料をお送りします。

①「末梢血幹細胞採取・移植に関する Q&A（第 2 版）」

全体的に内容を見直すとともに、これまでドナーコーディネート部に寄せられた質問と回答を追加しました。

②末梢血幹細胞採取施設情報一覧

末梢血幹細胞提供を含むコーディネート対象者へ採取スケジュール等の情報を提供する際にご参照ください。ただし、当資料の情報は現時点でドナーコーディネート部 PB 担当が把握している情報ですので、今後変更される可能性があります。変更があった際には、必要に応じて各地区で更新をお願いします。